

若者の皆さん

★それは あなたです

1 6・18 浜松大空襲六十二年目を迎える

◆今から六十一年前、太平洋戦争末期の一九四五年六月一八日、浜松は、アメリカ軍の大空襲により、この日一日だけで、六万五千発の焼夷弾が全市を覆い、死者一七十七名、家屋の全半焼一万五千八百七十四棟という壊滅的打撃を受けました。左の写真は、爆撃直後の焼け野原となった当時の浜松の光景です。



◆遠くに旧松菱デパートの残骸がぽつんと一つ見えます。

いま、このビルを見ている皆さんには、現在の平和で賑やかな浜松市の姿からは想像もできないかもしれません。

◆この空襲は前年一二月から始まり昭和二〇年の八月一日まで二七回に及びました。この間の死者合計三三、四九人、負傷者二八、三一人、全半焼したり壊れた家は合計三万三千戸にも及んだのです。(浜松消防本部資料)

◆これは日本国内の被害ですが、実はこの戦争で日本自身がアジアの国々に攻め入り、二千万人以上の人々を殺したのです。日本人も三百万人以上が死んだのです。

◆日本国民はこの過ちを繰り返さないため平和憲法（現憲法）を作りました。

みなさん、この光景は、もう未来には起きない歴史の一幕なのでしょいか。そうありたい、そうでなければならぬと願い、戦後、日本国民は新しい日本国憲法をつくり、第九条で戦争を完全に放棄し、武力も棄てたのです。

◆ところが最近、この憲法を変えて、この国を再び戦争のできる国にしようという動きがあります。

残念ながら国民の一部もそれに対してあまり反応していません。「自分以外の誰かが戦争に行くから、自分には関係ない」と思っているいませんか？

◆私たちは、若者のみなさんに特に訴えたい。憲法が改悪されてそんな国になったら、真つ先に戦場に赴くのは、若者のみなさん、あなたです。そしてみなさんの家族も戦火に巻き込まれるのです。

◆そんな世の中にならないよう、平和憲法（特に第九条）を守り抜きましょう！

★6・18 浜松大空襲と平和憲法を心に刻む集会のご案内

日時 六月一六日（金）午後六時半～八時半

場所 遠州教会（市内紺屋町三〇一、十五）

内容 「戦争体験を聞き、平和を考える」

主催 浜松市憲法を守る会、静岡県西部地区平和遺族会

二〇〇六年六月十一日（日） 第四七二回憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会

事務局 浜松市紺屋町三〇一、一五

★月例護憲デモ 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合